

対象国農業分野における開発ニーズ(課題)

- 安定した質と量を確保した農産物の生産及び情報管理
- 地方インフラの未整備及び輸送の高コスト
- 上記2点の影響による農産物輸出拡大の阻害

提案製品・技術

- 地上走行型ドローンのセンシングで集めた情報に基づいた営農・出荷管理のサポートサービス
- ドローンを使用した農産物用物流サービス

本事業の内容

- 契約期間: 2019年7月～2022年1月
- 対象国・地域: ルワンダ国キガリ州
- 案件概要:
 - 悪路により農場から幹線道路への物流アクセスが困難な農家に対し、ドローンを活用することでアクセスの改善を行い、さらには地上走行型ドローンで収集したデータをもとに営農・出荷管理を支援することで、輸出市場が求める安定した質と量の供給を行い、高付加価値農作物の輸出促進を目指す。



開発ニーズ(課題)へのアプローチ方法(ビジネスモデル)

- ローバードローンを用いて農作物の画像を撮影し、そのデータを日本に送付し、分析レポートを顧客に提供することで、営農指導サービスの提供
- 自律飛行ドローンを活用した物流サービスの提供

対象国に対し見込まれる成果(開発効果)

- データにもとづいた営農・出荷管理をサポートすることにより、高付加価値農作物の輸出を促進し、農家の収入向上に貢献
- 従来のインフラ整備では時間もコストも莫大にかかる中、ドローンを活用することにより、短期間で低コストな「次世代のインフラ開発」を促進